

南海トラフ大震災について、国が新たな被災想定を発表しました。被害が広域にわたった場合、当然、これまで以上の備えが必要となるため、改めて、市の考え方を質します。

―――目次―――

議題1 大規模災害に備えた飲料水・トイレの確保について

議題2 大規模災害に備えた食料の備蓄について

議題3 大規模災害に備えた避難所の整備について

議題4 市民と協働の防災・避難計画づくりについて

―――本論―――

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

議題1 大規模災害に備えた飲料水・トイレの確保について

- 1) 災害時には、速やかに多量の飲料水を供給できるように、「加圧式応急給水車」を配備するべきではないか。
- 2) 現在、市内の飲料水兼用耐震性貯水槽は、旧西尾市に100トン級6基が設置済みで、旧3町に今年度3基の設置が決まっているが、これだけでは不十分ではないか。少なくとも小学校区に1基ずつは必要ではないのか。
- 3) 17万市民の防災拠点となる市役所には飲料水兼用耐震性貯水槽を配備しなくてもよいのか。
- 4) 市民病院にも各避難所にも、飲料水兼用耐震性貯水槽が必要ではないのか。現状のペットボトル備蓄だけで充分といえるのか。
- 5) 耐震性貯水槽の配備は、旧西尾市の5か年計画のように設置計画を立てて進めるべきではないのか。
- 6) 新たな被害想定が発表されたが、現在、市が備蓄する簡易トイレはどれほどか。何人の何日分を準備しているのか。

- 7) 簡易トイレについては、各家庭での準備を呼びかけるべきと思うがどうか。
- 8) 多くの避難者が避難する学校はじめ各避難所には、掘り込み式の便槽つきぽっぴんトイレを整備するべきではないか。

=====

議題2 大規模災害に備えた食料の備蓄について

- 1) 新しい洪水ハザードマップが配布されたところだが、浸水地域と目される地域にある備蓄倉庫への浸水対策はどうするのか。
- 2) 国の新たな被災想定によって、各家庭における備蓄食糧は3日分から7日分に増やすよう求められているが、市としての備蓄も増やす必要があるのではないか。
- 3) 各町内会にも、自主防災会と連携した町内会員向けの一定程度の食料備蓄を呼びかけてはどうか。

=====

議題3 大規模災害に備えた避難所の整備について

- 1) 避難所の数は充分か。
- 2) 津波対策として、一色や吉良など沿岸部の学校や公共施設の屋上に逃げられるよう手すりなどを設置するというが、それぞれどの程度の人員が避難できるのか。
- 3) 津波時の避難場所については、屋上への避難も含めて、受入れ可能数を住民に明らかにして、安全な避難誘導を考える必要があると思うがどうか。
- 4) 一般的に、どの避難所には、どこの住民が避難するか、市としては定めているのか。収容人員は全市民のどの程度になるのか。

- 5) 避難所についても、年次計画を立てて着実に整備していくべきではないか。

=====

議題4 市民と協働の防災・避難計画づくりについて

- 1) 市の防災計画に準じて、各地域でそれぞれの防災や避難の計画を立てることを考えるべきと思うがどうか。
- 2) 大規模災害に際しての公助には限界がある中、市として自助・共助を進めるためにどのような対策をとるのか。
- 3) 「小学校区単位で住民が男女、老若、障害の有無にかかわらず幅広く参加した『防災や避難計画を話し合う会』」をつくってはどうか。
- 4) 小学校区単位での話し合いで出た意見を予算や計画に反映させるシステムにすれば、市の防災対策はさらに充実し実効性も高まると思うがどうか。